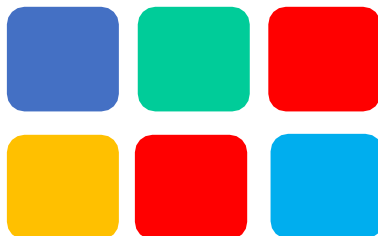




**IGEは
車いす留学を支援しています！**



IGE

DREAM ON WITH IGE

www.weexchange.com

IGE車いす留学の特徴（１）



IGEの車いす留学は、IGEを設立した時のポリシーの一つで、約15年間の実績があります。その裏付けとなっているのは、日本で特別養護教育を実践していた、平田貞美（元、IGEアメリカ本部取締役）の発案で、日本の障がい者の人達に、世界一進んだアメリカの障がい者に対する環境、教育、設備等を勉強して頂き日本の障がい者に対する環境を進歩させて行きたいという強い思いによるものです。



重度の脳性マヒにも関わらず、二度の留学を行った川端梓沙さんと平田貞美。

IGE車いす留学の特徴

- **有名大学のDisabled Education Center (DEC)での質疑応答**

アメリカの有名大学には、障がい者の教育についてサポートを行うDECという組織があります。ここに行けば、その大学が提供する障がい者のための教育、施設、政策などは全て分かるようになっています。

そればかりではなく、全米の障がい者のための教育、就職、環境、政府の方針なども分かる様になっているため、障がい者の将来の進路や教育、政策について、多くを得ることができます。

- **アメリカの大学に在学している障がい者との交流**

IGEでは、アメリカの大学や高校に在学している障がい者との交流を行っています。（7ページ参照）

アメリカの障がい者は活動的です。障がい者でありながら、大学の夏休みを利用して、海外に行って、現地の障がい者のためのボランティア活動を行ったり、アメリカ国内の障がい者ネットワークを利用して、種々の活動を行っています。梓沙さんが、日本の障がい者のために出来ることが無いのか考え始めたきっかけになりました。

IGE車いす留学の特徴(2)



● 環境、交通システム、建物などを視察

アメリカの障がい者の環境は日本では考えられない程進んでいます。全てバスには、スロープが自動で出て、車いすに乗ったまま、バスに乗せてくれます。バスの中は、当然、バリアフリーなので何の問題ありません。学校や商業ビル、ショッピングセンターは全てバリアフリーなので、車いすでも自由に動き回れます。また、OC アクセスを予約すれば、家まで来て、目的地に連れて行ってくれます。

野球場やフットボール競技場には、沢山の車いす専用のシートが設けられており、車いすを降りなくても専用シートに行ける様に競技場が設計されています。

トイレも専用で、また、車いすに乗ったまま、スナックや飲み物が買える様、カウンターも低く設定されています。

言うまでもありませんが、全ての建物は建築基準法によって、バリアフリーであることが定められているので、何処へでも安心して行く事ができます。

【OC アクセス】

車いすで乗り降りなしでそのまま利用でき、好きな時に好きなだけ、どこにでも行くことができる。



IGE車いす留学の特徴(3)



スケジュールはカスタムメイド

IGE車いす留学は、日程やアクティビティは全てカスタムメイドです。日程は1週間から 数か月まで、更には大学のセメスター（学期、約5か月前後）まで、好きなだけ滞在できます。（注）留学期間や授業時間によっては、学生ビザが必要となる場合があります。

アクティビティも全てご自分の好きな様に組むことができます。全ての外出には、経験 豊富なIGEスタッフや関係者が随行します。

- 川端梓沙さんの例：8週間語学+UCLA+創価大学アメリカ+障がい者大学生との交 流 ホームパーティ+ビーチ+ディズニーランド+アウトレットで ショッピング、バリアフリー施設の視察+ホームステイ
- 森山慶一さんの例：4週間語学+UCIキャンパスツアー+日本語学校交流会+南CAリハビリテーション研究所見学+エンゼルス観戦+ホームステイ+アウトレットショッピング+スポーツバー



ホームステイ



大学のイベントに参加

IGEスタッフにご希望の日程とアクティビティを頂ければ、直ぐに計画書を提案させていただきます。

プログラムの費用と内容



※費用はアクティビィ内容、介護士の必要な回数によって異なります。
カウンセリングにて打ち合わせをしていきましょう。

※円ドル相場を加味し、ご相談の上、最適な価格をご提示いたします※
最新の価格表を、カウンセリングにてお見せいたします

費用に含まれるもの

- 語学学校授業料、教科書
- IGEオリエンテーション
- 朝夕二食付きホームステイ
- IGEによる現地サポート

滞在方法：ホームステイ、ホテル

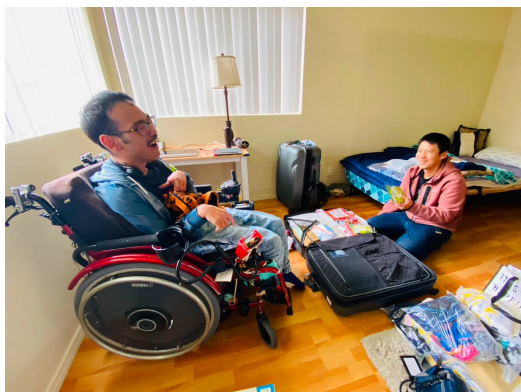
活動の時間帯

語学学校 9am-12pm

平日観光 1pm-5pm

休日観光 9am-5pm

到着時、ロサンジェルス国際空港には、IGEスタッフが
がお迎え、帰国時もIGEスタッフが空港まで送ります。



留学体験談

「日本から単身車いす留学の挑戦」

森山慶一

私は昔から一人でアメリカに行くことが夢だった。

留学エージェントである川口さんの尽力のおかげで、その夢が叶った。

あんなに夢に描いてた事を今体験談として書くことが不思議なくらいである。

日本から出発する時が一番苦労した。大雨で名古屋～東京間の新幹線が動かず、

予定日には日本を出発できなかった。暗雲が心の中で立ち込める中、

エージェントの川口さんにラインで現状を伝えた。すると柔軟に対応をして頂いた。

そしてラインの最後で「きっと大丈夫です」と言ってくれた。

そのおかげで一気に暗が晴れた。

翌日には飛行機に乗れて、無事にロサンゼルス空港に着いた。案内が全て英語表記で、周囲には日本人がいない。そこでアメリカに来了事を実感した。

空港では何らかのトラブルで数時間待たされた後、ようやく入国審査

ゲートを通過し、到着ロビーに出られた。すると川口さん夫妻とIGEのスタッフ

さんが出迎えてくれた。一気に緊張から解放された。

そこから最高の留学生活がスタートした。重度の障がいのある私を受

け入れてもらえるホームステイ先が見つからず、一か月間、エージェントであ

る川口さん夫妻の家でお世話になった。並大抵ではない覚悟で私を受け入れて

くれたに違いない。私が留守番していてどうしてもトイレに行きたくなった時

に、仕事中にも関わらず帰って来てくれたり、介護経験があまりない中でほぼ

毎日お風呂に入れてくれたりと、衣食住の事から語学学校の事まで川口さん夫

妻が全力でサポートしてくれたおかげで、アメリカ生活を存分に堪能出来た。

体験談の全文は <https://weexchange.com/taikenki/moriyama-keiichi/>



川端梓沙さん



川端梓沙さんは、重度の脳性マヒですが、どうしても留学して英語を学ぶことと、アメリカの文化を吸収したいと思い、留学を決意。この時の事は、NHK名古屋が特集で放映しています。



(左上) 語学学校の先生と

(右上) 思い切って体験発表したら大反響



アメリカ創価大学の同じ障がい者との交流の様。障害を持ちながら、南米コスタリカにボランティアに行った話を聞き、梓沙さんは心の底から感動しました。

自分も何かやりたいと思い、留学後の生活は一変しました。



IGEスタッフや友達と、大学のイベントに参加。

日本では思いもしなかった心に残る思い出になりました。

梓沙さんの体験談

<http://weexchange.com/taikenki/la06/>

鈴東祐己さん



鈴東さんは、重度の障がい。でもどうしても、UC Berkeleyの語学研修がしたいことと、同大学の Disable Centerで、障がい者の教育について、レクチャーを受けたいと思い留学しました。

San Franciscoでは、2週間、IGEスタッフが付きっきりでケアと通訳、それに移動などを行い非常に 充実した 2週間を過ごしました。その経緯は、帰国後、出版した本 「MADE IN MYSELF」 に詳しく書かれています。



UC BerkeleyのDisabling Education Centerにて



UC Berkeleyで友達になった大学生。
今でも交流は続いています。



ノリノリで乗った、サンフランシスコ名物のケーブルカー

乗り合わせた人に気軽に話しかけられて談笑する鈴東さん



美しかったゴールデンゲートブリッジIGEスタッフの川口と

鈴東さんの体験談

<http://weexchange.com/taikenki/la02/>



10年後にIGE スタッフの川口と再会した鈴東さん。

メジャーリーグ観戦



Los Angeles Angels Stadium



エンゼルスの大谷選手をみにいこう！

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★





DREAM ON WITH IGE

www.weexchange.com

(株) IGE アメリカ本部 11885 N. Riviera, Tustin, CA 92782 USA
TEL: 714-420-0288, Email: info@weexchange.com
IGE ジャパンオフィス
TEL: 045-790-0177, Email: info@weexchange.com
